



あさぎり町 農業委員会だより



令和4年
12月発行

編集発行：あさぎり町農業委員会
あさぎり町免田東 1199 番地 ☎ 0966-45-7225
<http://www.town.asagiri.lg.jp/>

七
色
の
秋



あさぎり町でがんばっている

後継者に インタビュー～



- ①就農したきっかけ ②作っている作物 ③現在の取り組み ④これからの目標



上
地区

上田 ^{たかまさ} 貴祐 さん
(父:安喜さん)

- ①実家が農業経営をしており、自分も農業で頑張っていきたいと思ったから。
- ②たばこ 260a ミシマサイコ 80a
- ③たばこについては家族経営をしているが、人手不足のため、ミシマサイコは、シルバー人材センターなど活用して、共同で収穫など行っています。
- ④規模拡大を目指し、自然災害などが起きても安定した収入をとりたいです。



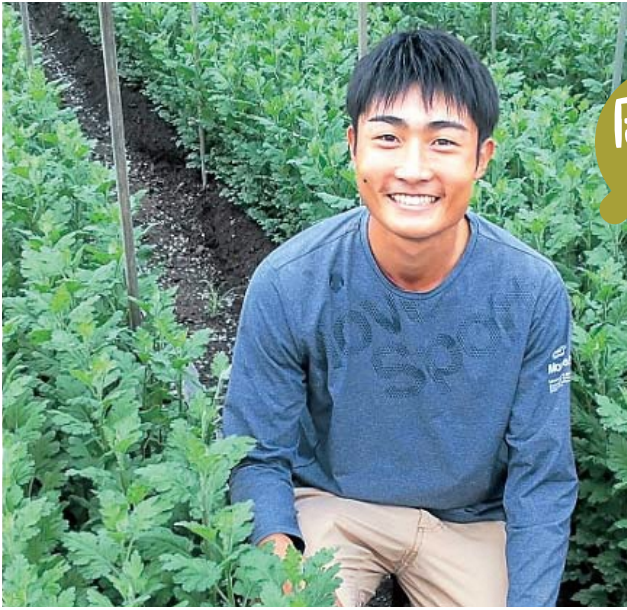
免田
地区

白川 ^{こうき} 皇希 さん
(義父:富永 真二さん)

- ①結婚をし、嫁の実家の農業に興味を持ったため。
- ②たばこ 260a 薬草(ミシマサイコ) 33a 米 150a WCS700a 麦 150a
- ③農地の管理を頑張っています。
- ④早く仕事を覚えて、一人前になれるように頑張りたいです。

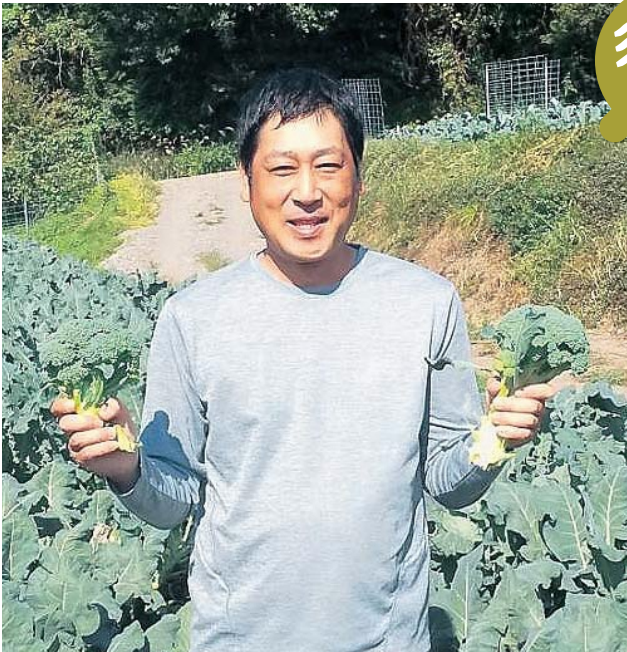
【表紙の紹介】 上地区ヘルシーランド周辺の雨上がりの風景 撮影者 中村好文





岡原 **那須 克己** さん
地区 (父:健助さん)

- ① 体を動かして働くことが向いていると思ったため。
- ② 米 150a 菊 75a ミシマサイコ 130a リンドウ 6a
- ③ 今年からリンドウを始めたので、来年の収穫に向けて管理を頑張っています。
- ④ 年間の仕事の流れを早く覚えたいです。



須恵 **有瀬 秀明** さん
地区 (父:勝喜さん)

- ① 両親が高齢で農業が大変だったため。また前の仕事の出勤時間が不規則で夜勤もあり、身体的にもきつかったため。
- ② 桃 50a 栗 15a 野菜類(レタス・キャベツ・ネギ・ブロッコリー・白菜・大根・落花生) 200a
- ③ 夜なべをしなくてもいいよう、18時には、明日の出荷準備が終わるようにする。トラクターをうまく扱えるように練習しています。
- ④ 家が山つきで無駄な斜面が広く、草払いが大変なので、有効活用できないか考えたり、画期的な草払い機があれば取り入れたい。桃の面積を増やし、1年の収入を桃だけでできるようにしたいです。



深田 **松永 政宏** さん
地区 (父:親さん)

- ① 手伝いをしていた時に、父が持病で作業が辛そうで、父母の負担が少しでも減らせたらと思ったことがきっかけ。
- ② プリンスメロン 19a きゅうり 14a 水稻 200a 大麦 90a
- ③ 近年、ハウス栽培で病害が多く、作物の品種検討、土壌改良、圃場確保に取り組んでいます。
- ④ 現在就農3年目で、昨年から経営も任せられているので、きちんと計画を立て、作業指示できるようにしたいです。

あさぎり町の農業女子紹介

- ① 就農した年月・就農したきっかけ
- ② 現在の取り組み
- ③ 農業を始めて思ったこと
- ④ 家庭との両立について
- ⑤ これからの目標



梅山 ^{りえ} 理恵さん
(夫: 禎一郎さん)

須恵地区

- ① 平成29年4月～結婚を機に農業を始めました
- ② 施設園芸(野菜)
あさぎり町農業女性の会の役員をしています。
- ③ 農家の大先輩方々がとにかく元気なことに驚きました。私も負
けられないなと思いました。
- ④ 家事は自分で何でもしようと思わないで、夫を使う(笑)
- ⑤ 夫と笑顔が絶えない楽しい農業を続けていきたいです。



皆越 ^{まこと} 真琴さん
(夫: 直樹さん)

免田地区

- ① 平成26年6月～結婚を機に農業を始めました
- ② 有機栽培
- ③ 自然を相手にする大変な仕事ですが、その分収穫の達成感や、
おいしくできた時の嬉しさがあります。
- ④ 今は、家族の理解もあり、家のことや子どものことを優先して
働くことができます。
- ⑤ 安心・安全に美味しく食べてもらえる作物を栽培していきたい
です。



作ってみてみて! 農家の時短レシピ



材料

- ・タルトカップ
- ・栗(甘露煮 or 湯がいた栗)
- ・ホイップクリーム
- ・スポンジ(市販のもの)
- ・粉砂糖
- ・栗(飾り用)

カンタンだけど、かわいくて、とっても
おいしい!! みなさん、ぜひ作ってください!

カンタン♪ かわいい ♪ マロンケーキ

レシピ

- ① タルトカップにスポンジをのせて、ホイップ
クリームを絞る。
- ② 湯がいた栗をミキサー等でペースト状にする。
- ③ ②を絞り袋に入れて、①の上に絞る。
- ④ ③に栗を飾る。
- ⑤ お好みで粉砂糖をかける。



レシピ提供: 井手 久美子

女性農業者の活躍

九州・沖縄ブロック農業委員会女性委員 研修会に参加して

10月24日・25日に九州・ブロック農業委員会女性委員研修会に参加しました。会場に入ったとたん、今回のタイトルでもある『今こそ見せよう！女性委員の底力』を感じる程の熱気に包まれました。

研修の内容は主に『耕作放棄地解消をきっかけとしたクララハイジの取り組み』の講演と農業者年金をめぐる情勢、パネルディスカッションを含めた女性委員の登用についてでした。



農業者年金についても少しずつ理解できるようにはなりましたが、推進の過程においても、一人ひとりの家庭の事情等でマニュアル通りにはいかず、いつもの会話や情報等が大きく影響す

ることが分かり、女性委員のきめ細やかな視点と役割が不可欠だと気づかされました。

農業経営においても、地域でも男性、女性それぞれの役割があり、これからの農業、農村を経営していくために、女性委員の登用の必要性を痛感しました。

現代は、農家の法人化や他産業からの参入などで、小規模農家が消えつつあることに危機感を抱いていました。そんな中、今回の研修で出会えた講演『クララハイジの取り組み』は、まさしく地域の宝に光をあてた

地域づくりの原点で、その宝は地域によって違いはありますが、地域の特性と人のネットワークで繋げた女性ならではの視点にこの先の光を見出した気がしています。

農業委員活動においても一人では何もできませんが、委員のみなさんや事務局とで、それぞれの課題を一つずつ丁寧に取り組むことができたらきっと『あさぎり町の農業は変わる』そんな野望を抱くことができた研修になりました。

橋口 京美

人吉球磨地域女性農業委員 ネットワーク研修会

11月15日、球磨村さんがうら交流館にて人吉球磨地域女性農業委員ネットワークの食育交流会を開催しました。

さんがうらのスタッフの方々のご指導で午前中蕎麦打ち体験。蕎麦粉をしっかりと捏ねて伸ばして切って、お昼は自分で打った蕎麦を頂きました。午後からは紅葉が見事な校庭に出て、レンガを組み立て火を起こしアレンジしたピザを焼きました。秋を満喫しながら会員相互の交流ができました。

宮原 久子



認定農業者女性の会研修会

10月27日にナビックスカイアカデミーにおいて、スマート農業機械操作体験研修があり、会員10名が受講しました。作業の省力化、時間の短縮など、これからの農業が目指すスマート農業。女性にも操作が出来る楽しい研修となりました。



特集 技能実習生を迎えて

中村 陽子さん（上地区）

我が家が実習生を迎えた経緯は、両親の高齢化による労働力不足です。父82歳、母81歳、叔母さんが77歳まで頑張ってくれましたが、実習生を迎えるそれまでの5年間ほどは、自分たちの体力の限界、そして両親叔母さんに「無理をさせてはいけない。」というストレスで、今考

えると大変苦しい時期でした。その5年ほどの間に、何度も夫に「面積を減らすなりどうか変えないともう限界だよ。」と提案してきたのですが、父が80を超えたところから「二人で面積を半分減らすより、従業員を入れて今のまま経営した方が楽だ。」という言葉にハローワー

クに求人を出す事も考え始めました。しかし日本人を雇用するには法人化しておらず、社会保険もないという事や、周年の労働体系が整っていないこともあり、日本人を雇用する覚悟を決められずにいた時、技能実習生が多く入国している時期と重なり思い切って実習生を受け入れる事としました。

まず初めに、知人の熊本市内で実習生を多く受け入れている農家に連絡をとり、組合を紹介してもらおうこととしました。迷いながらもまず話を聞こうと来ていただいた組合の方に話を聞くと、計算するとほぼ日本人を雇用するのと経費は変わりません。現実的に考えると、車を運転でき、住居の心配もなく、言葉の壁を感じなくて済むし、期限が決まっていない日本人を雇用する方が楽かもしれません。その中で実習生を受け入れる決



断をしたのは、「実習生には冠婚葬祭がない。」「多額の借金を抱え日本に来ているので、必死さが違う。」そういった事でした。たばこの時期は、ほぼ無休で仕事如山積みですので、急な休みを取られるとその日の計画が全て狂ってきてしまいます。また仕事がついていからと、たばこ栽培中に辞められてしまうか



もしれないというリスクを抱えていてはこちらも大変なストレスを感じます。そういう理由からベトナムに面接に行き、当時19歳だった女の子二人と雇用契約を結びました。

その子達も現在24歳。コロナで一時帰国も果たせぬまま、3年の雇用期間を2年延長し5年間私達と共に働いてくれました。夫は私が面接にベトナムに行く際「笑顔のいい子を選んで来い。仕事は教えれば誰でも出来る。」とだけ条件をつけ、選んだ二人は、どんなにキツイ仕事の時も笑顔を絶やさず、一生懸命働いてくれました。おかげで農繁期も私達も楽しく作業することが出来ました。彼女達が来て5年間、周年労働するという模索の期間でもありませんが、年々順調にたばこ以外の作付けの面積を調整することにより1年間を組み立て、売り上げを伸ばし、時給、ボーナス共に年々増額することができました。

よく勘違いされる事が、キツ

イ仕事は実習生に任せるのだからとか、安く使っているのだからとか、管理組合が天引きするのだからとか思っている方がおられるのですが、どんな仕事でもキツイ作業は伴いますが、同じ作物を作る仲間という考えでいけば、それだけをさせるといふ発想は浮かびません。また頑張った分だけ報酬をもらうというのは当然のことですし、管理組合に支払う料金というのは、彼女達の報酬から引かれるものではなく、こちらの負担額となります。その代わり、手続きの代行、及び月一回の訪問時には、こちら側の要望や、また彼女達が困った際には通訳を介して、何かしらトラブルがあった時の対応してもらえます。雇用户と労働者の間に入る第三者がいて管理してもらえんという事は、雇用関係を健全にするために本当にありがたい事だと思います。

今年で彼女達の実習期間が終わります。入れ替わりで別の技能実習生が入ってくることもな

りますが、今後は実習生と共に夫の片腕になりうる日本人の雇用も見据えて経営していければと思っております。



農業委員会活動報告

農地利用最適化推進大会研修報告

8月31日、コロナ禍でなかなか研修も開かれないうち、2年ぶりに「熊本農地利用最適化推進大会」が熊本市の県立劇場で開催された。あさぎり町からも15名が参加し、農業委員活動のキモである農地利用の最適化について研修してきた。

まず、山鹿市農業委員会から「農地集約の推進」についての活動発表があった。山鹿地域は内陸部で、中山間地と平坦地があり大きな川（菊池川）も流れるといった球磨地方によく似た地域である。やはり高齢化や離農が進み、大規模農家による農地集約が進んでいるが、農地は分散して「集約」は進んでいない状況である。また、小作料もバラバラで、それが集約が進まない原因ともなっているそうだ。そこで、モデル地区を設定し、推進チームを作って対象農家との話し合いや小作料を一律化し、作業効率を向上する「集約」に向けて活動しているということだった。



田崎 洋一郎

あさぎり町も、まさに一緒に集約は進んでいるが集約については、ほど遠いと感じる。小作料の違いもあるが、一番は「ウチの土地」を他人が作り、「ヒトの土地」を自分が作るという抵抗感があれば、なかなか「集約」は進まないと思う。しかし、少子高齢化は進み、作る人は減っても土地は減らない。これからの農地利用の最適化に向けての大きな課題になると感じた研修だった。

遊休農地への取り組み

あさぎり町農業委員会では、毎年8月と11月に現地調査や農地パトロールを行なっています。目的は、①地域の農地利用の総点検、②遊休農地の実態把握と発生防止、解消指導と違反転用発生防止および早期発見、更生対策です。

町内でも、農業者の高齢化、後継者不足などにより、農地の管理ができずに荒廃する農地が増加傾向にあり、それに伴い鳥獣害等も増えています。

皆様には、草払いなど維持管理をお願いし、今後も遊休農地の解消に向けて活動をしていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

緒方 信三



あさぎ中農業体験ラボ

あさぎり中学校において、農業体験を始めて3年目。今年度は、3年生は枝豆とひまわり、2年生はかぼちゃとコスモス、1年生はスイートコーンとケイトウを栽培し、秋晴れの下、収穫体験を楽しみました。しかし、スイートコーンは、生育不良により思ったほどの収穫ができなかったため、改めて露地栽培の難しさを知ることができた体験となりました。



こんなときどうする？

Q & A

Q 借りたい農地があるんだけど、どうしたらいいですか？



A まず、農地の所有者に話をされてください。所有者の意向を聞いて、借りることができる場合は、契約書を作成します。

Q 契約の始期の前に耕作準備に入ってもいいですか？

A 所有者と話し合いができて、了解が得られた場合は、大丈夫です。

Q 耕作する農地を探しています。借りられる農地はないですか？

A 農地中間管理機構（農地バンク）へ借受申出書を提出されると、貸付希望の農地を紹介することができます。ぜひご利用ください。



農地の貸借については、所有者と耕作者の話し合いにより、新規契約または契約更新になります。その際、契約内容（契約年数・小作料・支払方法）について、しっかりお互いで話し合いをされてから契約をしましょう。口頭契約は、トラブルに発展しやすいですので、契約を結ぶことをおすすめします。

【お知らせ】

経営基盤強化促進法による利用権設定は令和7年3月31日で終了します。令和7年4月1日からの新規契約や契約更新については、農地中間管理機構（農地バンク）を通じた貸借が農地法第3条の貸借へと移行します。なお、令和7年4月1日より以前に、農業経営基盤強化促進法による利用権設定を結ばれている契約については、契約終了まで継続できます。

農業者年金に 加入しました

川添 ^{ひろし} 悠さん・^{たかこ} 貴子さん
(岡原地区)

◆ 加入した年

令和2年・令和3年

◆ 経営形態

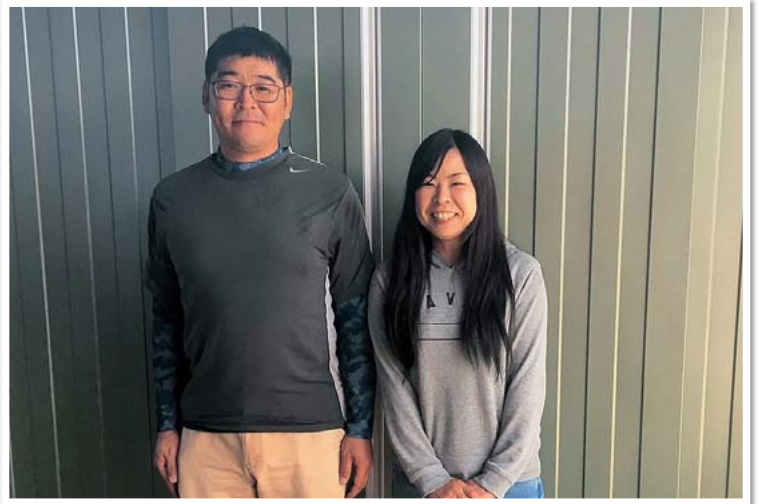
たばこ ミシマサイコ スッキーニ

◆ 加入したきっかけ

勧められて加入しました。

◆ 農業者年金未加入の方へ

節税はメリットです。若い人はぜひ加入してください。



農業者年金を 受給しています

中村 ^{かずと} 一人さん
(免田地区)

◆ 経営形態

たばこ 水稻 大麦 キュウリ
メロン

◆ 加入して良かったこと

今では国民年金と農業者年金を足して受給することができているので、加入して良かったです。

◆ 加入したきっかけ

将来、国民年金だけでは不安を感じたため。



今年も農業委員全員で詳しく学びました!

10月の総会後に農業者年金について、研修を受けました。農業者のみなさんへ農業者年金についてもっと理解してもらおうと勉強しています。農業者年金について詳しいことを聞かれない場合は、お近くの農業委員または事務局までお尋ねください。

受賞しました!!

令和3年度熊本県農業会議会長賞 団体の部
第1位 あさぎり町農業委員会



ひと言どうぞ! 受賞者インタビュー

個人の部

第1位
宮原久子委員

地域の農業者、女性農業者の皆様のご理解とご協力をいただき、今年も熊本県の年金推進部門個人の部で表彰頂きました。ありがとうございます。農業者年金は自分の積み立て年金になり、全額社会保険料控除が適用され、掛け金の選択ができる終身年金です。農業者のための素晴らしい年金! すべては農業者の老後の生活のための年金です。前向きにご検討ください。

第2位
村田新一委員

新制度の農業者年金の内容を詳しく学ぶことができたので未加入の農業者に勧めたいと思います。

中村好文委員

国民年金だけでは足りない部分を補ってくれる農業者年金は、農業者にとってはなくてはならない年金です! 未加入の農業者に広めていきたいです。

宮原範行委員

メリットは税制面の優遇です。安定した老後のために、ぜひ加入しましょう!

農業者年金に加入しませんか?

農業者年金には★通常加入→要件確認
(2万円~6万7千円)

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③60歳未満

○ } 加入できます
○
○

★政策支援加入
(国庫補助あり)

要件を満たせば加入できます

さらに!!便利になりました!

- ① 35歳未満で、政策支援加入対象とならない人は、1万円から加入できます。
- ② 受給開始時期の選択肢が広がりました。(65歳から75歳)
- ③ 農業者年金の加入可能な年齢の上限が60歳から65歳までに引き上げられました。

詳しい内容については、農業委員会事務局までお尋ねください。

経営継承 順調ですか？

継承の仕方がよくわからない

やる気のある新規就農者に引き継ぎたい

「くまもと農業経営継承支援センター」は農家の経営継承(移譲)を支援します！

県では、農家の円滑な経営継承(親族間継承、第三者継承)を進めていくための、相談窓口「くまもと農業経営継承支援センター(以下「継承支援センター」という)」を立ち上げ、関係機関が連携した取り組みを開始しました。

継承支援センターは、親族間継承の機運醸成や啓発、さらには、後継者不在の農家が所有する農地や機械、技術等の情報を一元化。

継承支援センターのホームページで「公開」などして、地域の担い手や新規就農者等へ継承するためのマッチングの支援を行います。

後継者がいない

後継者不在の農家の皆様へ

第三者(親族外)への継承(受け手)する相手(新規就農者等)を探すため、継承支援センターが行う「公開データベース」を利用し、継承希望情報(農地や、施設、機械等)を掲載するとともに、継承(受け手)する相手を探しませんか？

情報公開には、個人情報等の特定する内容については公開しません。掲載を希望される方、どのような取組みができるか気になる方、お気軽に「くまもと農業経営継承支援センター」(096-384-3333)へご相談ください。



ホームページでは随時情報を更新しています。

<https://hinokuninet.com/>

くまもと農業経営継承支援センター 検索

くまもと農業経営継承支援センター

■お問い合わせ先 一般社団法人熊本県農業会議(農政・担い手対策課) 電話:096-384-3333 FAX:096-385-1468 Eメール:43ninaite@nca.or.jp

全国農業新聞

農業現場に役立つ旬の情報をお届けします！
購読してみませんか？

全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会ネットワークが発行する週刊の農業総合専門誌です。

発行日 毎週 金曜日
購読料 1ヵ月 700円(送料 税込み)
◎購読申し込みは、農業委員会事務局まで

編集後記



9月18日、秋の収穫期を迎えた球磨地方を、数年ぶりに大きな台風が襲った。「大型で猛烈な台風14号」は、あの平成3年の台風19号をも上回る被害が予想されただけに、「稲は倒れても、家だけは吹き飛ばされませんように」と祈る人も多かっただろう。

しかし、台風が遅かったこと、鹿児島に上陸したおかげで勢力が弱まり、九州山地が壁となって熊本は予想したほどの被害はなかったことだった。それでもあさぎり町では、稲の倒伏や果樹の落果、岡原地区の断水と大きな被害はあったものの、人的被害がなかったことは何よりだったと思う。

農家にとって欠かせないのが、この台風情報を含めた天気予報。現在は複数の気象予報会社が出す台風の細かな動きや、雨雲の動きなどがスマホですぐに確認でき、非常に便利になった。ただ、ひとつ気になるのが気象予報会社によって天気予報が違うことだ。台風や雨雲は共有できても、週間天気バラバラで、どの予報を信じて良いのか分からないときがよくある。降水確率も大事だが、その会社の予報を信じていい確率も出してもらいたいものだ。

近年、災害のない年はない。数十年に一度の雨が毎年降る。平年並みという年は、ここ数年あったのだろうか。来年こそは「平年並み」でお願いします！

田崎 洋一郎

農業振興対策班

班長 田崎洋一郎
副班長 井手久美子
中村 好文
谷川 新二

緒方 信三
北川 浩臣
吉田 利明
宮原 久子
橋口 京美